

2025 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名	株式会社 JDSC
代表者名	代表取締役 加藤 聡志 (コード:4418、東証グロース)
問合せ先	取締役 CFO 平井 良介 (TEL. 03-6773-5348)

(訂正)「ソフトバンク株式会社との AI エージェント開発での戦略的協業を目的とする資本業務提携及び第三者割当による新株式の発行及び主要株主の異動に関するお知らせ」の一部訂正について

2025 年 10 月 20 日公表の「ソフトバンク株式会社との AI エージェント開発での戦略的協業を目的とする資本業務提携及び第三者割当による新株式の発行及び主要株主の異動に関するお知らせ」について、記載内容に一部訂正すべき事項がありましたので、お詫び申し上げますとともに下記のとおりお知らせいたします。なお、訂正箇所につきましては、下線を付しております。

1. 訂正の理由

「ソフトバンク株式会社との AI エージェント開発での戦略的協業を目的とする資本業務提携及び第三者割当による新株式の発行及び主要株主の異動に関するお知らせ」の内容に一部誤りがあることが判明しましたので、以下のとおり訂正いたします。

2. 訂正の内容

＜ 3 ページ （2）資金調達の方法として本第三者割当を選択した理由＞

(訂正前)

一方で、第三者割当増資を行う場合には、株式の希薄化が生じることとなり、下記「5. 発行条件等の合理性（2）発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠」に記載のとおり、本第三者割当に係る希薄化率は 11.56%（議決権ベースでの希薄化率は 11.40%）に相当します。しかしながら、本第三者割当を通じ、ソフトバンクとの強固な業務提携のもと事業推進を図ることは、当社の企業価値及び株式価値の向上に資するものであると判断し、本第三者割当を決定いたしました。

(訂正後)

一方で、第三者割当増資を行う場合には、株式の希薄化が生じることとなり、下記「5. 発行条件等の合理性（2）発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠」に記載のとおり、本第三者割当に係る希薄化率は 11.10%（議決権ベースでの希薄化率は 11.41%）に相当します。しかしながら、本第三者割当を通じ、ソフトバンクとの強固な業務提携のもと事業推進を図ることは、当社の企業価値及び株式価値の向上に資するものであると判断し、本第三者割当を決定いたしました。

< 5 ページ (2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠 >

(訂正前)

本第三者割当により割り当てる本新株式の数は 1,600,000 株（議決権数 16,000 個）であり、2025 年 5 月 13 日決議の新株発行分 584,000 株（議決権数 5,840 個）を加味した 2025 年 6 月 30 日現在の当社発行済株式総数 13,838,840 株 を分母とする希薄化率は 11.56%（2025 年 6 月 30 日現在の当社議決権総数 134,402 個 を分母とする希薄化率は 11.40%、株数及び議決権比率とも小数点以下第 2 位を四捨五入）に相当します。

(訂正後)

本第三者割当により割り当てる本新株式の数は 1,600,000 株（議決権数 16,000 個）であり、2025 年 5 月 13 日決議の新株発行分 584,000 株（議決権数 5,840 個）を加味した 2025 年 6 月 30 日現在の当社発行済株式総数 14,417,000 株 を分母とする希薄化率は 11.10%（2025 年 6 月 30 日現在の当社議決権総数 140,242 個 を分母とする希薄化率は 11.41%、株数及び議決権比率とも小数点以下第 2 位を四捨五入）に相当します。

以 上